

脱炭素社会の未来を拓く北海道・札幌宣言 ～脱炭素エネルギー基地を目指して～

世界で産業・社会をクリーンエネルギー中心にする「グリーントランスフォーメーション(GX)」が進められています。

こうした中、北海道では、国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャル等を活かした「ゼロカーボン北海道」の取組を、札幌市は、日本の「脱炭素先行地域」として「環境首都・札幌」づくりを進めています。

これらの取組により、北海道全体が環境と経済・社会が好循環する持続可能で活力ある地域となるとともに、脱炭素エネルギー基地として、日本や世界のGXにも貢献することは、北海道の価値と魅力を一層高めるものです。

こうした考えから、G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合の開催にあたり、北海道及び札幌市は、今後、日本政府とも一層緊密に連携しながら、脱炭素社会の未来を拓くため、次のことを宣言します。

- 一、北海道と札幌市は、国内の地域脱炭素のフロントランナーとして、官民一体となって、省エネの促進はもとより、再生可能エネルギーの最大限の導入と地産地消やこれを生み出す生産・研究拠点の国内外からの誘致を積極的に進め、生活の向上や経済の発展につなげます。
- 一、北海道と札幌市は、本道と本州の大消費地を結ぶ海底直流送電インフラの早期整備を促進し、洋上風力をはじめ本道の豊富な再生可能エネルギーを供給するなど、日本全体の再生可能エネルギーの導入推進に貢献します。
- 一、北海道と札幌市は、再生可能エネルギーを活用する半導体やデータセンターなどの産業の振興、蓄電池や水素・アンモニア、CCUS、合成メタン、合成燃料など新しい脱炭素技術の導入や人材育成などに取り組みます。
- 一、北海道と札幌市は、国内外の企業の参画も得て、世界的な環境金融の資金も呼び込みながら、こうしたGX関連事業を推進します。
- 一、北海道と札幌市は、これらを含む様々な取組によって培う知見と経験を国際社会に発信し、世界のGXに貢献します。

2023年4月15日
北海道知事 鈴木 直道
札幌市長 秋元 克広